



TRACKS 隊員の自己紹介PG. 1・地域おこし協力隊についてPG. 2・

活動報告PG. 3・協力隊3人の対談PG. 9・活動写真 PG. 10 BONUS 未来予想図 裏表紙





ひがし れい か 東 怜鹿

出身地：東京
誕生日：世界一有名なネズミと一緒に
苦手：階段
村山市との出会いは東京でのイベント。
あの日あの時あの場所にいかなかったら今はなかったです。
これからも出会いや直感を大切にしていきたいと思っています。

おお やま ふ ゆ み 大山 芙由美

出身地：村山市
誕生日 12月31日 30オーバー
こだわり：「ポロシャツのサイズを上げない」を目標に、体型維持しながらいかにたくさん食べれるかを考えています。
趣味：架空の旅行プランを考える事
村山市を盛り上げていきたいです。



モハマド ナジュワ・ビン・アブ・ハッサン

出身地：マレーシア
誕生日：1989年8月19日 29歳
日本に来るきっかけ：10年前に来日し、山形大学工学部に留学しました。
日本の事を漫画から学び、日本に憧れていました。
趣味：漫画を描くこと、バンド活動、居合道、ゲーム

かげ きょう りょく たい 影の協力隊

4人目の協力隊。たびたびむらやま瓦版に登場し、「こども」「楽しい」「かわいい」路線のPRに努める。平日は保育園でこども社会を学び、休日は村山市のイベントに積極的に参加している。村山市のシンボルである東沢バラ公園のバラまつり・むらやま徳内まつりはもちろんのこと、大わらじ制作過程を田植えから作業現場密着までしている、村山大好き2歳児である。
好きな食べ物はそば。好きな場所は図書館のカウンター。お姉さんとお話し、アンパンマンの素晴らしさを伝えることも忘れない。



地域おこし協力隊とは

都市に住む人たちがさまざまな理由で豊かな自然環境や歴史、文化等に恵まれた「地方」に注目しているといわれています。地域おこし協力隊は、人口減少や高齢化等の進行が著しい地方において、地域外の人材を積極的に誘致し、地域力の維持・強化を図っていくことを目的とする、国が定めた制度です。

村山市地域おこし協力隊について

村山市が地域おこし協力隊を受け入れたのは平成21年8月で、東北地方初の試みでした。隊員各自が経験やスキル・特技を活かして、各種イベントの企画・運営、地域資源の情報発信など、村山市の知名度向上や地域活性化を目指して日々奮闘しています。現在の3名は平成28年度に着任し、インバウンド推進、地域行事の応援、商店街活性化などの分野で活動しています。



むらやま瓦版 について

村山の気になる【もの・こと・ひと】について情報発信することを目的にスタート！
むらやま瓦版を見て、「このお店行ってみた!」「おいしかった!」「情報ありがとう!」の音が嬉しくて、こまめに楽しく更新しています。
次はどのお店に行こうかな?「うちに遊びに来て!」という方がいたら、是非ぜひ教えてください。
喜んで取材しに行きます(〇)

フェイスブック…<https://www.facebook.com/murayamakawaraban/>
ブログ…URL : <http://murayamakawaraban.tumblr.com/>

【むらやま瓦版】



【facebook 瓦版】



【大わらじ応援日記】



【藁の話】



【いこ。村山市】
(インスタグラム)



【居合道体験】
(facebook)



【居合道体験】





わらじ作りを荒町の方に教えてもらいました

東 怜 鹿

ひがし れい か

地域おこし協力隊に 応募したきっかけ

結婚を機に千葉市に引っ越し、夫婦で生活していました。毎日の満員電車で疲れ、これから家族が増えることを考えると空気のいいところで生活をしたいと思うようになり移住を決意。移住先を探していたところ、東京開催のイベントで地域おこし協力隊のブースがあり、興味を持ちました。協力隊の活動内容は決まったものがなく、自分で課題を見つけ、動けるような働き方に惹かれ応募しました。

今後の抱負や任期後

移住して3年。2歳のこどもを保育園に預けながら、安心して仕事ができること、不便なく生活出来ていること、地域の方が温かいこと、これは村山市に定住するしかない！家族ともども村山市をととても気に入っています。今後は今までの経験を活かして地域に貢献できるような仕事に就きたいと思っています。

【活動の様子を発信している SNS・ブログの URL】

「大わらじ応援日記」
<https://www.facebook.com/oowarajiouennikki/>
 「藁の話」
<https://www.facebook.com/waranohanashi/>



① 大わらじ応援事業

村山市楯岡荒町の方々が制作した大わらじを約 10 年に一度浅草寺に奉納しています。

大わらじの制作現場に密着し、多くの方に知ってもらうため、フェイスブック「大わらじ応援日記」で情報を発信しました。

このページの QR コードは浅草寺の大わらじ前看板に貼りつけられており、多くの観光客の方に見てもらっています。また、浅草には外国人観光客も多数訪れることから、英語版のページをナジュワ隊員に作成してもらいました。

荒町の方々は大わらじ奉納の年だけでなく、「荒町わらじ細工倶楽部」として冬場に毎年集まっているそうです。今後は藁工作の魅力を発信していくため、フェイスブック「藁の話」で村山市だけでなく、県内外の藁に関連した情報を集め発信していきます。



② 私の一押し実行委員会

結婚したくてもきっかけがない。という方に村山市で素敵な出会いをしてもらいたい！と恋活イベントを開催しました。この婚活イベントは「プチ仲人活動」と題し、出会いがほしい人と、その人を一押ししてくれる人、二人ペアで参加してもらっています。「一人ではなかなか」という方に好評です。

これまで甕葉プラザ、東沢バラ公園、楯岡商店街を活用しました。楯岡商店街での婚活では、男性は美(理)容室で髪の設定をしてから、女性は化粧品店でメイクをしてから顔合わせ。商店街を中心に活動している大山隊員とのコラボ企画となりました。この活動により、村山市で「縁むすび隊」として仲人活動を頑張っている団体と出会うこともできました。今後は縁むすび隊ともコラボして企画していけたらと思っています。



③ 世界の台所探検家と

料理検索サイトで有名なクックパッド株式会社勤務であり、世界の台所探検家として活動している方を招いて、「村山市の食材を世界はどう料理するのか」と題してイベントを開催しています。

村山市のおいしい野菜がどう変身するのか毎回楽しみです。最終的にイベントをまとめて、皆さんに見てもらえるようにしたいと思っています。

村山市がブルガリア共和国のホストタウンであることから、なるべくブルガリア料理も盛り込み、ブルガリア語にも翻訳して、ブルガリアの新体操チームゴールデンガールズにもプレゼントしたいです。





商店街の空き店舗でハロウィンパーティ

大山 芙由美

地域おこし協力隊に 応募したきっかけ

「いつか村山市に戻りたい」漠然とそんな
思いがあり、仙台で働きながらも職を探して
いた時に協力隊の募集を見つけ「これだ!!」
と思い応募しました。

あまり考えずに決めたいけれど、この決断は
間違っていなかったなと笑顔で言えます。

今後の抱負や任期後

食や文化、観光など、地元とはいえ知らない
事だらけで日々勉強です。

そして幼い頃から母の影響で続けている七宝
焼、今後は民泊型体験工房をつくり、七宝焼を
多くの方に広めると同時に、村山市に住んでい
る人もいない人も村山市を知り好きになっても
らうきっかけ作りの場所になれば嬉しいです。



【活動の様子を発信している SNS・ブログの URL】

「むらやま瓦版」

<https://www.facebook.com/murayamakawaraban/>

① 商店街活性化+α

【やど おかりかふえ】

やど=商店街のお店 おかり=お借りする
去年に引き続き、商店街のお店の一角をお借りし、
カフェやワークショップを設ける事で商店街活性化を
図る活動。

今年は商店街から飛び出し、農村文化伝承館でア
ート&カフェを企画し、第2回となるハロウィンパーティ
では県主催で商店街を歩行者天国にしました。
商店街には使っていない空店舗が多々あります。そこ
を若者の活動紹介ブースやワークショップブースにし、
多くの方に楽しんでもらえました。

子どもたちが楽しそうに商店街を歩く姿、それを見
守る店主達、この光景がこれからも続くことを願っ
ています。



空店舗をこども射的に変身

② 情報発信

体験した事、気付いた事、イベント情報を発信して
いる【むらやま瓦版】。

気付いたことや感じたこと、イベント情報などを協
力隊3人で記事にアップし続けてきました。

最近ではむらやま瓦版に掲載してほしいという声も
チラホラあり嬉しく思います。

毎月第1・3水曜日は五日町公園で「からほろマル
シェ」が開催され、その情報発信に努めました。旬の
野菜や果物を紹介したり、農家さんからおススメレシ
ピを聞いて作ってみたり…五日町公園は憩いの場であ
り交流の場だと改めて感じました。

今後、五日町公園でイベントをしてみたいと思っ
ています。



イベントの撮影

③ 七宝焼体験（自主活動）

ものごころついた時から母の影響で続けてきてい
る七宝焼。今年は市内に限らず市外や県外でもワーク
ショップや販売を行いました。

定期的を開催することで七宝焼の知名度もあがり、
またやってみたいという声もたくさん聞いた気がしま
す。そして小学校の学年行事や卒業制作の依頼もあり、
来年に向けて充実した1年になったと思います。

大きな作品が作れなかったのもっと色々な作品
にチャレンジし、七宝焼を通して多くの方と触れ合い
村山市を七宝焼で盛り上げたいと思っています。

こんなの作ってみたいなどありましたら、ぜひ声を
かけてください。

ご協力いただいた皆様、ありがとうございました。



大久保小学校1年生の学年行事





居合道の師匠と演舞しました

モハマド ナジユワ

地域おこし協力隊に 応募したきっかけ

東京で3年間サラリーマンをしていましたが、東京での暮らしに疑問を抱き、起業したく山形に戻ろうと決意しました。元々山形大学の工学部出身という山形との繋がりがあって、慣れている環境に変えたかったこともきっかけです。

今後の抱負や任期後

- 1 居合道体験商品のプロモーション活動を継続しラウンドオペレーターとして活躍する。
- 2 村山市で空き家を借りて事務所として活用し起業をする。
- 3 インバウンド向けの多言語対応ホームページ、プロモーション動画作成を行う制作会社を立ち上げる。

【活動の様子を発信している SNS・ブログの URL】

居合道体験

- | | |
|---------|-------------------------------------------------------------------------------------------|
| ウェブサイト | www.iaidoexperience.com |
| インスタグラム | ikomurayama |
| | iido.original.experience |
| フェイスブック | iido original experience |
| ツイッター | iido original experience |



① 情報発信活動

外国人には雪と言えば北海道というイメージがありますが、東京から簡単に行ける雪国の山形県(村山市)をマレーシアインフルエンサーを通じて紹介しました。山形県はおしんの撮影場所としても人気のため、マレーシア人から良い反響をもらい、今年度の冬から銀山温泉、蔵王に来ているマレーシア人観光客が増えています。山形県の雪というキーワードを売り、今後は村山市のインバウンドに繋げていきたいです。その他にも村山市の観光資源を英語の動画で紹介したり、ポスターを作成したりしました。

また、ネット上で村山市の情報を増やす必要があると思い、SNS を活用し村山市の面白いネタや画像を投稿しています。



② 居合道体験プログラム

村山市は約500年の歴史を持つ居合道の発祥地です。村山市出身の林崎甚助重信が居合道の開祖となり、日本だけでなく、全世界まで広がりました。林崎甚助重信は林崎居合神社で祀られて、毎年全国から沢山の剣士が訪れています。

2017年から居合道の体験商品開発チームに加わり、外国人目線でアイデアを出しました。

2018年12月に出来上がった居合道体験商品はメディアや国から良い評判をもらい、沢山の方々から注目されています。

日本の刀やサムライが好きな外国人向けに居合道体験商品を作り込み、居合道を広げ、村山市の観光も盛り上げたいです。

また、去年から実際に居合道を習い、初段を取りました。練習の度に新たな発見が見つかり居合道のことがさらに好きになりました。



③ 国際交流イベント

山形県の国際交流協会と連携し、村山市の山の方々と交流企画を行いました。山形大学に在学している留学生を招待し、山の内の方と交流し、雪遊びや外国紹介会等を行いました。山の内の子供たちに沢山の国際交流を体験してもらい、国際視点を持たせる他、自分の出身地のことを改めて発見し、誇りに思えるよう企画しました。

国際交流に参加する留学生も、山の内の方も楽しく交流し、お互いに良い刺激になる企画になりました。

地域おこし協力隊を卒業後、村山市で空き家を借りて様々なイベントを行い地域の皆さん(市民)がさらに国際視点を持つよう頑張っていきたいと思っています。



協力隊 3 人の対談



N: ナジュワ R: レイカ F: フユミ

Q 3年間振り返ってどんな年でしたか？

R: 私は村山市に移住して来て母親になった。周りの人達が赤ちゃんの洋服、おむつ、おもちゃ等いろいろ準備してくれて、唯一買ったものはチャイルドシートだけ。いろいろ借りたり、もらったりして、地域の人に応援してもらって助かった。

F: それってすごい！

N: たしかに。

F: 私は体重ちょっと増えたことかな。

R: 私はもっと増えたよ！

F: それは妊娠していたからでしょう！

N: 私は外国人と日本人の間の壁が消えて、初めて地域に入れた気がした。

F: 確かに！

R: どの目線からの同意？笑

Q それぞれ初めて会ったときの印象は？

F: 2 カ月遅れて入ってきて、外国人夫婦と聞いていたから知っていたんだけど、実際に会ってみて、おーって感じ。

R: どういうこと？

F: 私の勝手なイメージで、ナジュ(ナジュワのあだ名)は身体が大きな人だと思ってたから、まさかこんなにシュツとしているとは……

R: そんな印象だったんだね。

N: やまっち(フユミのあだ名)もシュツとしてたよ。

F: (苦笑)

Q 印象的なことは何でしたか？

F: ナジュの事業を 3 人で一緒にやった時！今思うとすごい事したなって思う。

R: どういうこと？

F: 3 人の中でもナジュが一番早く自分の事業を実行していて、たくさんの留学生を村山市に招待し、情報発信事業をしてすごかった！

N: そうだったね。

R: あのときからインバウンドの事業やりたいてって言っていて、いまだにまだぶれていないよね。

N: ま、ちょっと先が見えてきたイベントだったかな。

R: アクシデントもあって、当日バスに置いて行かれたよね。

N: そんなことあったね。皆さんのおかげでスムーズにいろいろな事業を実行することができました。

F: 今になったら笑い話だ。みかこちゃん(レイカのあだ名)もすごかったー。妊娠中にいろいろ活躍して、ちゃんと自分の企画を実行。お腹が大きくなっていてもぎりぎりまで働いていたよね。

R: ね。でも、つわりとかなかったから、本当に助かった。皆さんからいろいろ助けて頂いて婚活イベントも産後 2 カ月だったけど成功できました。

Q 地域のこと改めてどう思いますか？

F: 周りの人が常に手を差し伸べてくれて、協力して頂きました。地域の人もやりたいことを言ってくださり、助けてもらったりして自分の地域おこしの活動が上手く行けた気がする。自分が企画したやどおかりかふえ事業がきっかけで、様々な人脈や他の事業の展開に繋がった。

R: 地域の人たちってちゃんと地域おこし協力隊のことを見て、応援してもらっている気がする。村山市内も市外も地域の人から声かけられるようになってとても嬉しい。

N: テレビに出ていますね、とか、ラジオに出ました？とか言われることがあって、村山市地域おこし協力隊のこと知ってもらって本当に良かったと思う。地域の人温かく接してくれて、村山市は本当に暮らしやすいと思います。

Q やり残したことはありますか？

N: 私は音楽イベント(ロックフェスト)を企画することができれば良いなとずっと思った。いつかバンドを組んで皆と音楽イベントで地域を盛り上げるとい夢があったけど、なかなか実現できなかったから、卒業後実現できるよう頑張りたい。

F: あ一言ってたよね。

F: 最初に東沢バラ公園で野外映画館やりたいという夢があったけど、実際その事業を実現することができ、次の年は違う人が引き継いでくれて本当に良かったと思う。他のやりたい事業もできて、やりきれた。

R: 東沢バラ公園でもっといろいろな事業をやっていたかったな。村山市を代表するバラ公園は様々な可能性を持っている。

NF: だね。卒業後も何か楽しいことしたいね。

NR F:

活動を通して、市民の皆様には沢山のご協力をいただきました。ありがとうございました。今後もどうぞよろしくお願いいたします。



未来予想図

学校を卒業して、初めての仕事は給食関係。福島県で働き始めました。24歳の時にテレビで魔女の宅急便を見て、14歳の少女キキが一人で旅に出ていることに衝撃を受け、新しいことに挑戦するために仕事をやめました。その後縁があり1年間だけ山形大学工学部で微生物の研究を始めます。再度給食関係の仕事に戻り病院勤務。結婚を機に千葉に移住し、日本一接客に力を入れているであろうところで働きました。それから村山市地域おこし協力隊へ。さあ、次はどんな風が吹くだろう。村山市を生活の場所にし、まだまだ模索していきます。(移動式気まぐれ案内人みたいになれたらいいなあ。)



ヒガシレイカ



カタツムリ、人面クモ、蟻、ご臨終した鳥、鳩など、、、虫や鳥が好きで拾ってきては隠し、の繰り返しでした。そんな楽しい幼少期を過ごしたおかげで、いつか村山市に戻りたいという思いがずっと残っており、3年ほど前に協力隊として戻って来ました。

今後は白鳥と楯岡を行き来する生活を送ります(やはり鳥好きが高じて白鳥なのか?)。白鳥では七宝焼民泊工房をする予定です。

七宝焼に興味も持つ方が増え、宿泊することでよりディープな村山市を知ってもらえるきっかけ作りになればいいと思います。とかっこいいことを言っていますが皆で楽しく村山を盛り上げていきたい、それが一番です。

大山英由美

村山市地域おこし協力隊を卒業後、村山市に住むつもりでいます。居合道体験商品のラウンドオペレーターとして仕事していきます。居合道体験商品を売り込むために、営業活動、プロモーション活動、商品管理等の仕事が欠かせなくなります。

また、人口減少で苦しんでいる村山市をどうやって元気にできるかって考えたときに、インバウンド化により観光の事業が地域の経済を回すには必要となってくると思います。なので、村山市は山形県で外国人向けゲストハウスのメッカになれるよう、外国人フレンドリーゲストハウスも将来経営したいと思います。



ゲストハウス

居合道ラウンドオペレーター

Hi

発行 村山市政策推進課

〒995-8666 山形県村山市中央一丁目3番6号
TEL 0237-55-2111

発行日 平成31年3月